

平成25年度

海上保安庁関係予算配分概要

(航路標識整備事業)

目 次

I. 平成25年度航路標識整備事業予算配分方針	1
II. 平成25年度予算配分総括表	2
III. 事業別概要	3
IV. 管区本部別配分額	4
V. 配分箇所具体事例	5

平成25年5月

I. 平成25年度航路標識整備事業予算配分方針

平成25年度航路標識整備事業予算については、船舶のふくそうする海域における船舶交通の安全確保及び船舶の運航効率の増進を図るため、航路標識AIS等の新たな情報技術を活用した海上交通基盤の充実強化を実施するほか、船舶交通の安全確保に不可欠な航路標識の機能を維持するために必要な整備を実施するなどの事業に重点的に配分し、安全・安心で効率的な海上交通の実現を図る。

(1) 新たな情報技術を活用した海上交通基盤の充実強化

近年の外国船舶の増加や船舶の大型化、高速化に伴い、衝突・乗揚げ等の船舶事故による被害の大規模化が懸念されることから、航路標識AISを活用し、灯浮標をプラットフォームにした気象情報提供システムを整備するなど、ふくそう海域における船舶交通の安全対策を図る。

(2) 航路標識の機能維持

航路標識は船舶交通の安全確保に欠かせない公共インフラであり、常に標識の機能を果たし続ける必要があることから、老朽化した施設・機器の補修や更新整備、定期的な灯浮標の交換等を実施する。

Ⅱ. 平成25年度予算配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区分	直轄	補助	計	備考
航路標識整備事業	3,248	-	3,248	
合計	3,248	-	3,248	

Ⅲ. 事業別概要

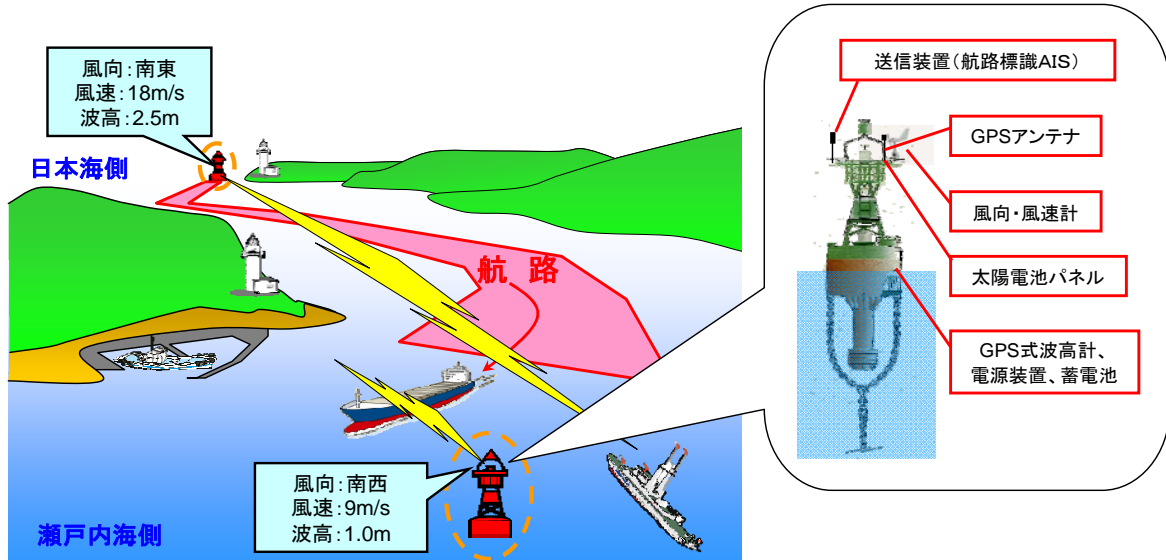
航路標識整備事業

223 箇所 事業費 3,248 百万円

(1) 新たな情報技術を活用した海上交通基盤の充実強化

○灯浮標をプラットフォームにした気象情報提供システムの整備

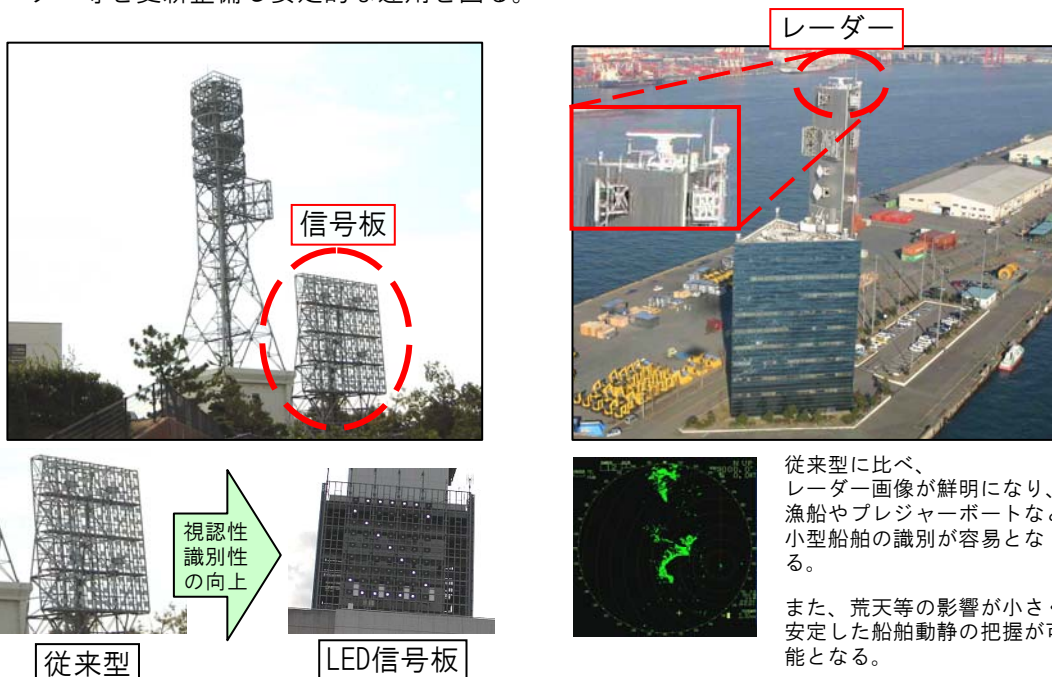
船舶気象通報は船舶の安全運航に欠かせない重要情報であることから、ふくそう海域の灯浮標において海上観測（風向・風速・波高）するとともに、航路標識AISにより、通航海域の海上現況を直接的に情報提供する。



(2) 航路標識の機能維持

○老朽機器の更新整備

船舶交通の安全確保に不可欠な航路標識の機能を維持するため、老朽化した信号板やレーダー等を更新整備し安定的な運用を図る。

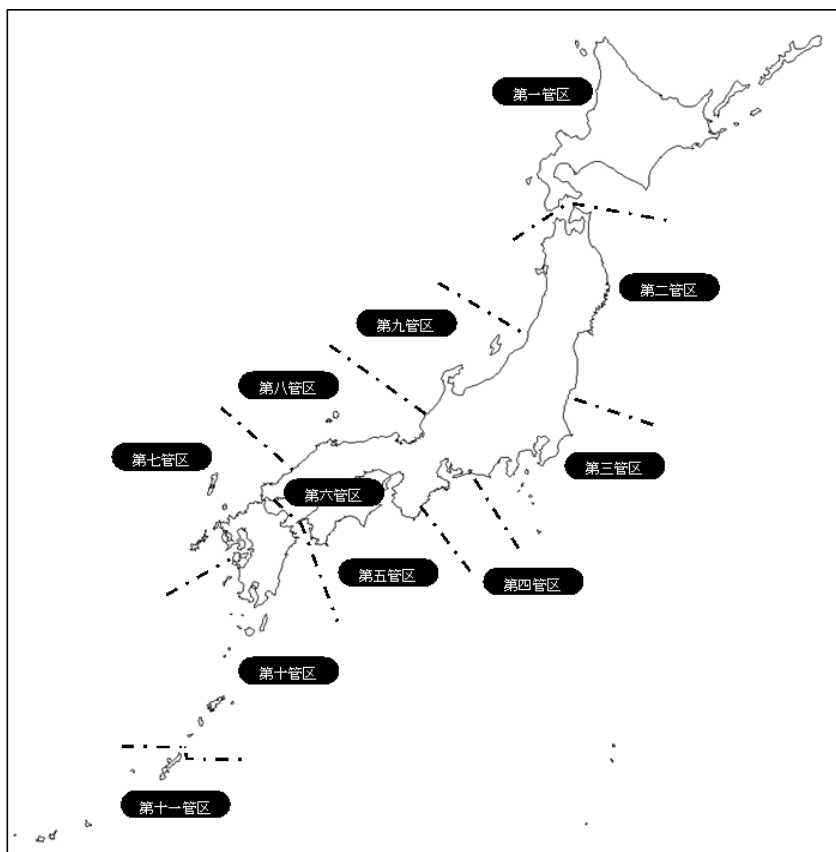


IV. 管区海上保安本部別配分額

[直轄事業]

区分	事業箇所数 (箇所)	航路標識整備事業 (百万円)
第一管区海上保安本部	11	219
第二管区海上保安本部	27	159
第三管区海上保安本部	15	317
第四管区海上保安本部	23	380
第五管区海上保安本部	24	423
第六管区海上保安本部	47	780
第七管区海上保安本部	34	526
第八管区海上保安本部	8	91
第九管区海上保安本部	7	93
第十管区海上保安本部	16	129
第十一管区海上保安本部	11	131
合 計	223	3,248

※補助事業はなし



V. 配分箇所の具体事例

1. 新たな情報技術を活用した海上交通基盤の充実強化

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
福岡県沖	関門港航路標識整備事業	<p>百万円</p> <p>13</p> <p>9</p>	<p>事業内容等</p> <p>灯浮標をプラットフォームにした 気象情報提供システムの整備</p> <p>下関南東水道第一号灯浮標</p> <p>関門航路第一号灯浮標</p> <p>完成時期 平成25年度末</p> <p>緊急性 近年の船舶の大型化により、 船舶海難による被害が大規模化 する恐れがあることから、ふく そう海域において、通航路近傍 の気象現況を灯浮標で観測し、 船舶にリアルタイムに情報提供 し、海難の未然防止を図る必要 がある。</p> <p>効果 気象情報提供体制を強化する ことにより、ふくそう海域にお ける安全・安心且つ効率的な海 上交通を実現する。</p>

2. 航路標識の機能維持

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
香川県 (坂出市)	備讃瀬戸北航路航路標識整備事業	百万円 214	<p>事業内容等</p> <p>老朽機器の更新整備</p> <p>与島西船舶通航信号所</p>
愛知県 (名古屋市)	名古屋港航路標識整備事業	170	<p>名古屋船舶通航信号所</p> <p>完成時期 平成25年度末</p> <p>緊急性 近年の船舶の大型化により、船舶海難による被害が大規模化する恐れがある。このため、海上交通センターのレーダー装置の機能を強化し、ふくそう海域における船舶への情報提供機能を維持・強化する等により、海難の未然防止を図る必要がある。</p> <p>効果 海上交通センターの機能を維持・強化する等により、ふくそう海域における安全・安心且つ効率的な海上交通を実現する。</p>